

作成日：2025 年 5 月 13 日

ダイハツ九州株式会社の 2023 年度・2024 年度の健康診断および体力測定に参加した方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。

この研究は、2023 年度・2024 年度の健康診断、及び体力測定に基づいた研究であり、このような研究を行う場合、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保証することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。参加拒否の申し出を受けた場合、すでに作成された匿名加工データを破棄し、参加を拒否された方の情報を除いた匿名加工データを再作成して研究で使用します。

1. 研究課題名 事業所で実施される体力測定データ等を活用した労働者の健康に関する調査
2. 研究期間 研究機関の長の許可日から西暦 2028 年 3 月 31 日まで
3. 研究機関 産業医科大学
4. 研究責任者 産業医科大学産業生態科学研究所作業関連疾患予防学 助教 松垣竜太郎
5. 研究の目的と意義

我が国では、労働安全衛生法に基づき、労働者に対する健康診断が実施されています。この情報は労働者個人の健康管理に役立つだけでなく、産業保健施策の検討においても貴重な基礎データとなっています。

しかしながら、一般的な健康診断では主に身体的な健康状態を評価できるものの、筋力や持久力などの身体機能的側面を評価することができないという限界があります。近年の研究では、このような体力的要素が労働者の健康状態や仕事のパフォーマンスに大きく影響することが示唆されています。そのため、労働者の健康や労働生産性を総合的に捉えるためには、従来の健康指標に加えて体力などの機能的側面も考慮する必要があると考えられます。

しかし現状では、健康診断に加えて体力測定を実施している事業所は少数にとどまっており、健康診断のデータと体力測定のデータを組み合わせて分析した研究はほとんど存在していません。

本研究の目的は、健康診断から得られる情報と体力測定で得られる情報とを組み合わせ、分析することで、労働者の健康と体力の関連性に関する新たな知見を得ることです。このような統合的分析はこれまでほとんど行われておらず、本研究により労働者の健康状態と身体機能的側面の相互関係について重要な発見が期待できます。得られる知見は、企業における科学的根拠に基づいた健康管理施策の立案に役立つ基礎データとして貢献することが期待されます。

6. 研究の方法

本研究は、2023 年度と 2024 年度の健康診断、体力測定等から得られた情報を用いた後方視的研究です。対象者は、ダイハツ九州株式会社で 2023 年度と 2024 年度に健康診断及び体力測定を受けた方々です。研究参加拒否のあった方は対象から除外します。本研究ではダイハツ九州株式会社大分（中津）工場に籍を置く共同研究者が、研究対象者の健康診断、体力測定（体力測定時に確認した痛みの問診項目等を含む）情報を突合した匿名加工されたデータを作成し、匿名加工されたデータを研究責任者兼情報管理責任者が受領して研究に利用します。匿名加工されたデータの解析は産業医科大学に籍を置く研究者が行います。

7. 個人情報の取り扱い

本研究では研究者が個人情報を取得することはありません。

8. 問い合わせ先

産業医科大学産業生態科学研究所作業関連疾患予防学 助教 松垣竜太郎
電話：093-691-7471

9. その他

本研究に参加することによる直接的な利益および経済的負担はありません。しかしながら、本研究の実施により得られた知見は、皆様が勤務する事業所における産業保健の向上に寄与するものであり、間接的にその利益を享受することができると考えます。本研究は当講座に寄付された奨学寄付金及び本学研究費により、本学の主任研究者（及びそのグループ）のもとで公正に行われます。本研究の利害関係については、産業医科大学利益相反委員会およびダイハツ九州株式会社大分（中津）工場の利益相反管理組織の承認を得ており、公平性を保ちます。